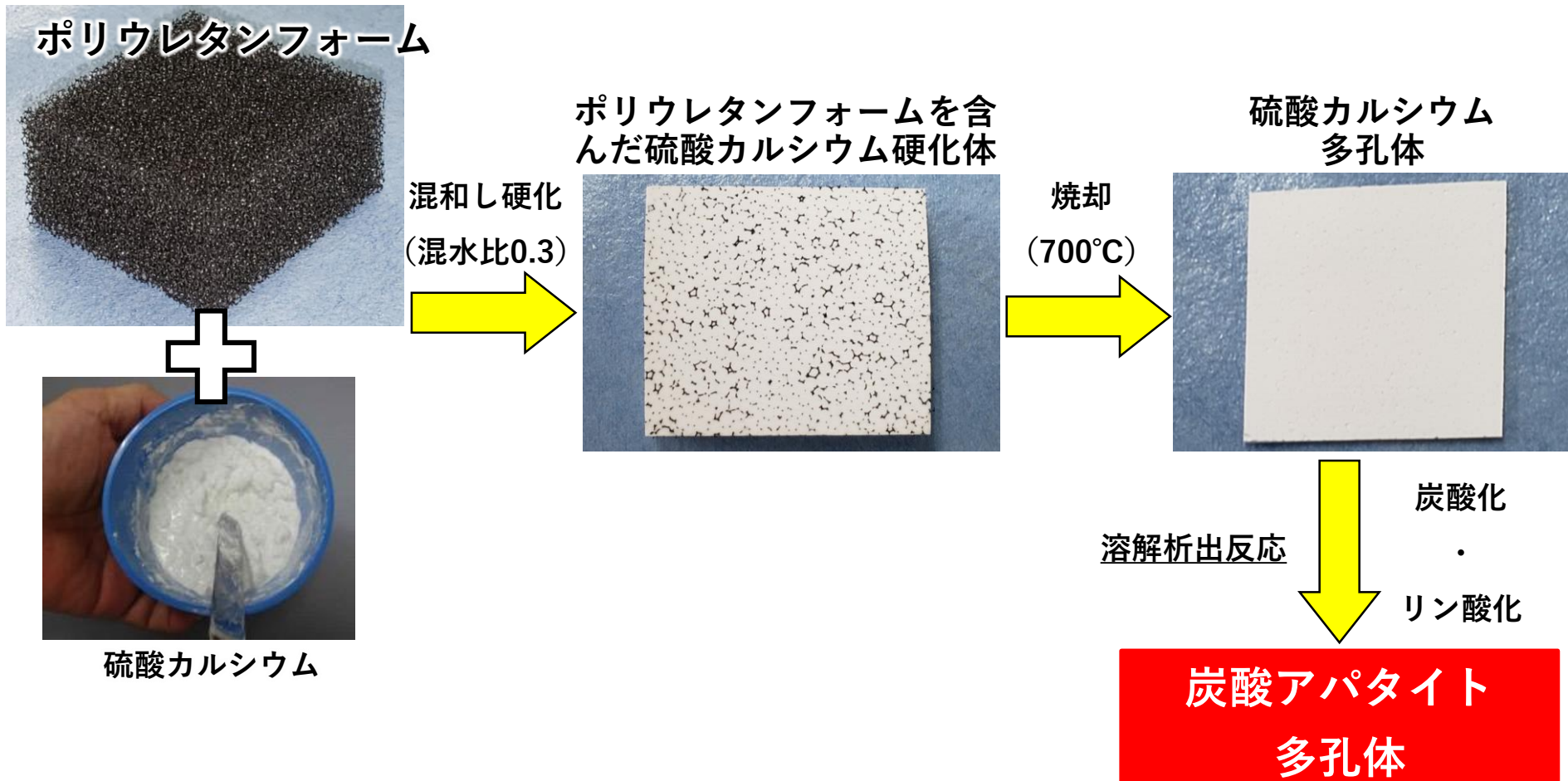


炭酸アパタイト多孔体の開発



- ポリウレタンフォームを含んだ硬化体を焼却することで、フォーム部分が気孔となるため、連通気孔を有する実用化サイズ多孔体が作製可能となる。
- フォーム線径や線維密度を変えることで種々の気孔径を有する多孔体の開発することができる。

